

福岡県
福岡市

熊本県
菊陽町



地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、「地域の事業者と連携した一次産品のブランディングの取組み」「地域の事業者と連携した福岡県の魅力発信に向けた取組み」「熊本県菊陽町の物産展」についてご紹介いたします。

福岡市内産農産物のブランド構築に向けたプロジェクト始動！

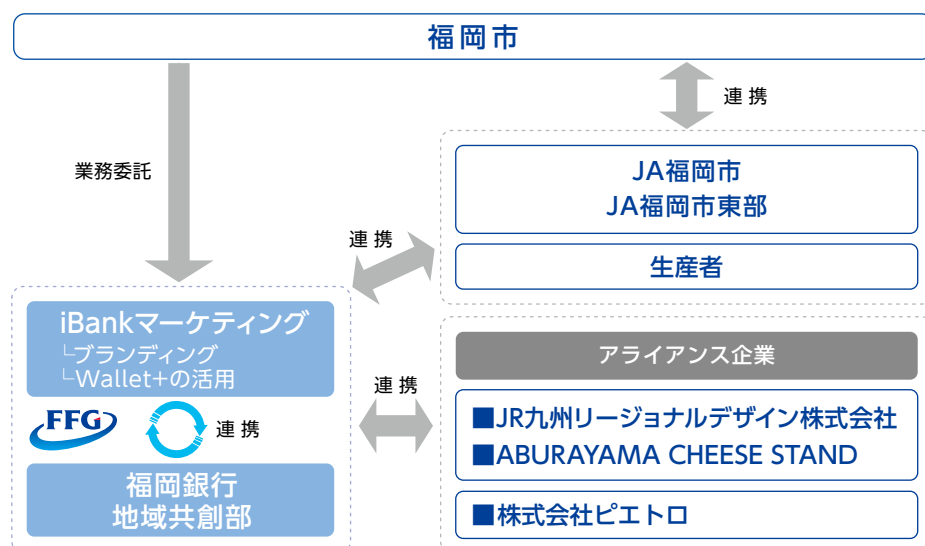
福岡市では、福岡市内産の農産物消費拡大・地産地消を推進しており、その中で、農産物の魅力がまだ消費者に十分に知られていないという課題解決の一つとして、新たなブランド創出を目指し「福岡市内産農産物ポテンシャル調査業務」を実施。FFGグループ企業であるiBankマーケティングを主体とした提案が採択されたことから、福岡銀行地域共創部ではiBankマーケティングと連携し、本プロジェクトに取り組むこととなりました。

本プロジェクトでは、農産物の「ブランドストーリー」を仕立てるべく、あまり知られていない特徴・食べ方・背景にある生産者の想い等を引き出し、消費拡大につなげるための調査や効果的な手法の検討を実施しました。iBankマーケティングでは、銀行公式アプリ「Wallet+」のアンケート機能を用いた消費者のニーズ調査なども行いました。

また、農業協同組合とも連携し、生産者のもとを訪問しヒアリングを実施。農産物の魅力や栽培のこだわりだけでなく、福岡の食文化を支える存在でありながら、市民にも十分に認知されていないという生の声をお聞きました。

今回はブランド構築に向けた初年度の取組みとして、「博多しゅんぎく」「箱崎小町（青ねぎ）」「元岡トマト」「博多かぶ」にフォーカスし、まずは認知拡大を図るために、本プロジェクトの趣旨に賛

■事業スキーム図



同を頂いた地元事業者と連携し、市内飲食店において期間限定メニューを販売しました。

第一弾はJR九州リージョナルデザイン株式会社と連携し、リニューアルで注目を集めるABURAYAMA FUKUOKAにあるCHEESE STAND^{チーズスタンド}2023年10月～12月にかけて、主力



商品であるチーズと掛け合わせたメニューを展開しました。第二弾は株式会社ピエトロ(以下、ピエトロ)と連携し、市内3店舗において、オリジナルメニューやピエトロの代表的なメニューと、福岡市内産農産物のコラボを実施しました。生産者と地元事業者等が連携し、農産物の魅力を引き出したメニューを展開することで、多くの方に福岡市で採れたおいしい農産物を味わっていただきました。

今後も福岡銀行では、FFGが持つ多角的なリソースを活用しながら、地元事業者等との連携・協業を通じて、地域の課題解決・活性化につながる取組みを推進してまいります。

ピエトロ本店 セントラーレ



ABURAYAMA CHEESE STAND



福岡銀行 地域共創部 小鶴(中央)
iBankマーケティング 今川(左)、田代(右)
【お問い合わせ】092-723-2254



福岡市内産農産物の生産者



**「麴町なだ万 福岡別邸」を活用した福岡県の魅力発信イベント開催！
～福岡県の食、伝統工芸品、観光情報、歴史・文化を全国へ～**



八女茶の魅力について語る株式会社木屋芳友園の木屋社長



茶葉と岩塩を合わせた一品



木屋社長考案「八女茶スパークリング」

福岡県は、県内の多様な魅力を首都圏に発信する拠点であるアンテナレストラン「麴町なだ万 福岡別邸」(以下、なだ万)において、食事と文化体験等のワークショップをセットにしたイベントを定期的に開催しており、観光情報やレストランの情報を発信するなど、魅力を効果的にPRすることで、福岡県への誘客促進を図っています。今回は、2024年4月から実施される「福岡・大分ステイネーションキャンペーン(※1)」を見据え、福岡の食、伝統工芸品、観光情報、歴史・文化などをテーマに「麴町なだ万 福岡別邸」を活用した福岡県への誘客促進を図るための魅力発信業務に係

る委託事業を実施。この事業について、東京のマーケティングソリューション事業者である株式会社Bennu^{ベニュー}と協業して取組むこととなりました。

本イベントは、旅行・グルメ系を中心としたインフルエンサーや、メディア関係者、旅行関係者を対象としたイベントであるため、若年層やインバウンド旅行者に対して大きな影響力が期待されます。FFGでは、営業店と連携し、取引先でもある地域事業者にも参画いただくことで地域の魅力発信のみならず、事業者PRや商材のプロモーションの機会創出を図りました。2023年12月に実施したイベントでは、久留米餅や八女茶、ブランド柿



「秋王（※2）」を提供。久留米餅の着付け体験をはじめ、八女茶スパークリングの試飲、茶葉の試食など、八女茶の新しい楽しみ方と魅力について体感していただきました。八女茶スパークリングは、日本に36人しかいないとされている日本茶鑑定士の1人である株式会社木屋芳友園きやほうゆうえんの木屋社長自らご提供いただきました。また、秋王においては、生果およびなだ万とコラボした特別メニューを提供。化学肥料を使用しない農法栽培で独自ブランドを展開されているうえ農園の井上社長に秋王の特徴やお土産品として提供した「冷蔵秋王」の製造秘話についてもお話いただきました。

商品の提供だけでなく、体験や地元事業者とのコミュニケーションを通してストーリーを知っていただく機会となり、来場者からは「福岡でしか味わえない高付加価値な体験をもっと多くの方に知ってもらいたい」とのお声をいただき、SNS等で広く発信していただくなど、福岡県の魅力および地域事業者のプロモーションにつながる取組みとなりました。

今後もFFGでは、福岡県や地方自治体とともに地域の課題解決・活性化につながる取組みや取引先の業績に貢献する取組み（本業支援）を推進してまいります。

（※1）福岡・大分デスティネーションキャンペーン

JRグループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーン。2024年4月～6月に「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」が開催予定。

（※2）秋王

2001年に福岡県が育成を開始し、2012年に品種登録された柿の品種。糖度が高くサクサクした食感で大変美味しく、きれいな橙赤色で、種がほとんどないという優れた特徴があり、その名のとおりに「秋の王様」の柿。



なだ万特別メニュー「秋王アイスと秋王レアチーズケーキ」



秋王への熱い想いを語るうえ農園の井上社長



福岡銀行地域共創部 山下
【お問い合わせ】092-723-2254



麹町なだ万 福岡別邸

東京都千代田区麹町1-12-1
住友不動産ふくおか
半蔵門ビル1階



「菊陽町物産展」をふくぎん本店広場で開催！



当日大盛況のイベント会場



左から菊陽町 吉本町長、野村頭取(熊本銀行)

2021年11月、台湾の半導体受託製造大手TSMCの熊本県菊陽町進出が決定して以降、菊陽町周辺は国内のみならず世界中から注目を集めています。

菊陽町と熊本銀行は、半導体企業をはじめとした企業誘致支援や、地域産業の振興、地域産品の販路拡大等、持続的な地域経済の発展に寄与することを目的に、2023年1月に「包括連携協定」を締結しました。



菊陽町物産展 in ふくぎん本店広場チラシ



左:FFGブランドキャラクター「ユーモ」、右:菊陽町マスコットキャラクター「キャロッピー」



熊本銀行の行員も菊陽町の方と一緒に農産物をPRしました

その協定の一環として、2023年11月25日(土) 菊陽産農産物のPRを目的とした「菊陽町物産展」をふくぎん本店広場で開催しました。東には阿蘇の山々、中心部には一級河川の白川が流れる等、豊かな自然に育まれた農産物が多く生産されており、昔から農産業が盛んな町です。そこで、昔からの町の基幹産業である農産業の振興や知名度の向上、販路拡大等の支援を行うため、町役場職員や地元事業者と連携し、本物産展を開催しました。当日は、特産の人参をはじめとする新鮮な野菜や農産加工品の販売、菊陽産紅はるかの焼き芋の実演販売などを行い、多くのお客様にご来場いただき

きました。来場したお客様からは、「台湾の半導体企業が進出する町だね。こんなに新鮮な野菜がとれるのか。購入できてよかった」や「次回もぜひ開催してほしい」などの嬉しいお言葉をいただきました。再来場して追加購入されたお客様もいらっしゃるなど、ほとんどの商品が完売となり、菊陽産農産物のPRに寄与する取組みになりました。熊本銀行では、今後も包括連携協定の枠組みを活用し、半導体関連企業の誘致や町の産業振興等まちづくりに関する様々な取組みをFFG一体となつて支援していきます。



熊本銀行ソリューション営業部
左から金森、西田、小野
【お問い合わせ】096-385-1280

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254